一人一人が得意なことを生かして先生たちを支える

小林　幼稚園・保育園の先生を見ていると、とても大変な仕事だなと感じます。周りが先生を支えていくことが必要で、私たちにも何か手伝えることがないかなと思います。

市長　具体的に手伝えるのではないか、と思うことはありますか。

小林　私は絵が得意なので、それを生かして運動会など行事の飾りつけができると思います。子育て世代に限らず、地域の一人一人が個性を生かして支え合うことができたら、もっと子育てしやすい社会になるのではないでしょうか。

市長　皆さんの得意なことや、できることを社会で発揮してもらえるようなきっかけづくりが必要ですね。

希望する人が子育てなどをしながら働くことも選べる環境を

子育てしながら働くことに対して感じるハードルや、必要な取り組みなどについてお聞きしました。

「きっかけ」と「後押し」があることで働くことを前向きに捉えられる

市長　周りの人も含めて、子育てをしている皆さんは、子育てしながら働くことをどう捉えていますか。どんな取り組みが必要だと思いますか。

八児　子育てをしていると、子どもの送迎や病気など、時間的な制約がどうしてもあります。その条件でも雇用したいという企業と、働きたい人がうまくつながることが大切です。

北九州市のお母さんたちは「子育ても楽しいけれど、私の人生も生きたい」というようなエネルギッシュな人が多い印象です。働きたいと思ったときに背中を押してくれるような機会があれば、前向きな気持ちになれると思います。

中田　産休や育休でキャリアが途切れている人もいますが、働くには新しい知識やスキルを学ぶリスキリング（学び直し）も必要です。子育てや介護などいろいろなライフスタイルの人が働きやすくなるよう、後押しがあるとよいと思います。

清永　働きながら子育てをしていると、区役所などで手続きをするため、平日に会社を休まなければならない時があります。少しずつオンラインの手続きも増えてきましたが、もっと増えるといいですね。

子育て世代にとって住み続けたいまちにするために

子育てをしている人が「住み続けたい」と思えるような魅力あるまちにするために必要なことについて、お尋ねしました。

子育てを支援する取り組みをもっと多くの人に届けていきたい

中田　私は関東から引っ越してきました。北九州市は、自然や公園も多く子育てしやすいと感じています。先日、市の施策を聞く機会があって、いろいろなことをしていると知りましたが、知らない、気付いていない人も多くいるのではないかと思います。

デジタルで便利に！

アプリによる妊娠届け出の事前申請が**9割超え**（令和4年度）

きたきゅう子育て応援アプリ

乳幼児健診の問診票の入力やヘルパーの予約をアプリで行うことができます。他にも子育てに役立つ機能がたくさんあります。

予防接種がカンタン！
予防接種管理
簡単にスケジュール作成！
接種記録をデータ管理できる！

スマホにデータ記録！
成長記録
健診記録や日々の思い出を。
身長・体重はグラフ化もできる！

市や区からのお知らせ！
子育て情報
妊娠中・子育て中の人向けの「北九州市の情報」が届く！

▲アプリの入手はコチラから

問子ども家庭局子育て支援課 ☎582・2410

こどもまんなかアクション

「こどもまんなかアクション」とは、地域社会、企業などさまざまな場で、年齢、性別を問わず「全ての人が、こどもや子育て中の方々を応援する」という社会全体の意識改革を後押しする取り組みのことです。

今後、この取り組みを市内に広げ、北九州市全体で「こどもまんなか社会」を目指します。

▲「こどもまんなかアクション」発表の様子

11月は「秋のこどもまんなか月間」です

市民の皆さんをはじめ、市内の企業、団体においても、積極的に「こどもまんなかアクション」の実践をお願いします。

企業・団体の取り組み（一例）

- 小さな子どもや子連れの人、妊娠中の人への配慮を呼びかける車内アナウンスを実施
- 店内に個室の授乳室とおむつ替え台を完備

問子ども家庭局総務企画課 ☎582・2280

この特集に関するお問い合わせ　企画調整局企画課 ☎582・2965